

○水生生物モニタリング調査結果一覧(太田川F)

＜太田川F 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○
F-2	○	○	○	○	○	○
F-3	○	○	○	○	○	○
F-4	○	○	○	○	○	○
F-5	○	○	○	○	○	○
F-6	○	○	○	○	○	○

＜太田川F 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		水質					底質		その他	
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)	水温(℃)	泥温(℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)	透視度(cm)		
F-1	37.5975°	140.9252°	H27.8.21	8:23	8:03	21.9	21.9	砂	2.5Y4/2	なし	0.50	>50		
F-2	37.6016°	140.9423°		9:30	9:16	21.2	21.2	砂	10YR4/3	なし	0.34	>50		
F-3	37.6045°	140.9636°		10:40	10:50	21.6	21.8	砂	2.5Y5/2	なし	0.50	>50		
F-4	37.6070°	140.9720°		12:34	12:46	19.6	19.8	砂	2.5Y4/3	なし	0.32	>50		
F-5	37.6022°	140.9868°		13:30	13:27	20.5	20.8	砂	2.5Y4/3	なし	0.37	>50		
F-6	37.5953°	141.0123°		14:36	—	22.1	—	—	—	—	0.76	>50		

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)												
F-1	37.5975°	140.9252°	H27.8.21	8:23	7.5	<0.5	3.1	8.7	5.8	0.03	1.2	2	1.3	0.076	0.28	—	
F-2	37.6016°	140.9423°		9:30	7.3	<0.5	2.3	8.4	6.6	0.04	0.9	1	1.0	0.087	0.33	0.0033	
F-3	37.6045°	140.9636°		10:40	7.4	<0.5	2.7	8.2	6.7	0.04	1.0	4	1.9	0.083	0.32	—	
F-4	37.6070°	140.9720°		12:34	6.9	<0.5	1.6	7.9	7.4	0.04	0.6	1	0.8	0.048	0.18	—	
F-5	37.6022°	140.9868°		13:30	7.1	<0.5	3.3	8.4	8.3	0.05	1.6	3	2.3	0.042	0.16	—	
F-6	37.5953°	141.0123°		14:36	7.1	0.5	2.6	8.1	131.5	0.69	2.3	4	3.4	0.034	0.14	—	

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	計画緯度	計画経度		時刻(泥)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)							シルト (0.005~0.0075mm) (%)	粘土 (0.005未満) (%)	中央粒径	最大粒径							
F-1	37.5975°	140.9252°	H27.8.21	8:03	6.8	427	18.6	1.2	2.9	2.663	22.9	16.2	39.4	17.6	1.5	2.4	0.60	19	1400	5600	—	
F-2	37.6016°	140.9423°		9:16	6.9	477	18.2	0.5	1.4	2.654	47.8	39.2	11.4	0.6	0.4	0.6	1.9	19	640	2600	N.D.(0.14)	
F-3	37.6045°	140.9636°		10:50	6.4	404	16.7	0.6	1.4	2.653	29.7	26.3	26.3	13.5	1.8	2.4	1.0	19	380	1600	—	
F-4	37.6070°	140.9720°		12:46	6.9	516	10.9	0.4	1.2	2.646	40.7	41.6	15.7	1.5	0.3	0.2	1.7	19	210	810	—	
F-5	37.6022°	140.9868°		13:27	7.0	288	15.6	0.7	1.5	2.649	30.6	39.5	23.9	3.5	1.2	1.3	1.3	4.8	150	630	—	

＜太田川F 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Ba/kg-wet)		Sr-90 (Ba/kg-wet)														
		緯度	経度										成長段階	消化管内内容物	測定部位	Cs-134	Cs-137															
F-1	—	37.5975°	140.9252°	H27.8.21	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物(藻類を含む)	—	0.047	—	—	—	81	340	—														
										節足動物	昆虫	トコバネ	エゾトコバネ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	41	0.0093	幼虫(ヤゴ)	—	—	—	41	160	—								
										節足動物	昆虫	トコバネ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>	オナガサナエ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Sieboldius albardae</i>	オナガサナエ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	—	ダビドサナエ属																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Asingomphus melaeops</i>	ヤマサナエ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒメナガサナエ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ																	
										節足動物	昆虫	トコバネ	オナガサナエ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトククロスジヘビトンボ																	
										節足動物	軟甲	トコバネ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ										2	0.029	成体	—	—	78	310	—
										節足動物	軟甲	トコバネ	スズエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スズエビ										12	0.015	成体	—	—	120	450	—
										節足動物	軟甲	トコバネ	スズエビ	<i>Paratya improvisa</i>	スズエビ										177	0.021	成体	—	—	36	150	—
										脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Triboiodon hakonensis</i>	ウグイ										3	0.062	成魚(3歳)	—	—	110	430	—
										脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	—	ヨシノボリ属										10	0.020	成魚	—	—	210	840	—
粒子状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.15	—	—	15	61										—							

- ※1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5: 成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢推定の結果を示す。
- ※6: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※7: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※8: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※9: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。